

「グローバルとローカル」をテーマに新潟大会を開催

9月27日(土)、新潟市で開催した第6回地域ソフィア会全国大会(2014新潟大会)では、「グローバルとローカルー新潟からの発信」をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネリストは上智大学教授の藤崎一郎氏、嘩道佳明氏と地元代表として篠田昭新潟市長(72外露)。コーディネーターを務めたのは、ニュースキャスターの安藤優子氏(13院後G社)。

1時間40分にわたるパネルディスカッションでは、会場の参加者も次々と発言する中で、単に外国語を習得して国際機関やグローバル企業で活躍するというレベルを超えた熱心な議論を展開。異なる言語、文化を持つ人々といかに交流するか、その中でよりよい社会や世界を築き上げるためにどうするのか、まさに上智大学の教育精神「Men and Women for Others, with Others」にふさわしい内容となりました。

今回の大会には国内、国外から185名が参加。パネルディスカッションに先立って行われた情報交換会でも、ソフィア会の新しい活動「ソフィアNEXT100プロジェクト」について議論、理解を深めました。



さらに、グローバルに

上智大学ソフィア会 第6回地域ソフィア会全国大会 2014新潟大会



上智大学は「総合グローバル学部」を新設 「スーパーグローバル大学創成支援」にも採択

“外国語に強い”というイメージがある上智大学も、さらに次のステップに向けて取り組みを進めているようです。そのひとつが、今年4月に9番目の学部として新設された「総合グローバル学部」。グローバル社会に必要とされる叡知を理解し、社会に貢献、活躍できる人材を育成するという高い目標を掲げています。

こうした取り組みの延長線上にあるのが、9月に採択された文部科学省のスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」です。上智大学は、日本社会のグローバル化を牽引する「グローバル化牽引型」に応募、採択されました。「多層的ハブ機能を有するグローバルキャンパスの創成と支援がバランスの確立」を推進します。



ソフィア会は国際委員会を新設

ソフィア会もグローバル化の波に合わせ、専門委員会として「国際委員会」を新設しています。今後、英語版ソフィア会Webサイトの制作、海外のソフィアン、留学生などへの情報発信基盤を充実させる計画です。

上智大学ソフィア会

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL03-3238-3041 FAX03-3238-3028

SOPHIA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

7-1, KIOICHO, CHIYODA-KU, TOKYO 102-8554 JAPAN

ソフィア会ホームページ

<http://www.sophiakai.gr.jp/> E-mail: jimukyoku@sophiakai.gr.jp

発行/上智大学ソフィア会 発行人/上原治也 編集人/穴戸周夫 発行日/2014年11月25日

いま、改めてソフィア会を考える

“若手”が見たソフィア会、そしてこれからの姿

ソフィア会の会員は、国内各地はもとより世界に広がり、世代格差は優に半世紀を超えた。その中で、ソフィア会という私たちの共通基盤をこれからどう維持し、発展していくのか。若手ソフィアンが考えます。

(出席者)

金谷武明 (95年法法、ネオソフィアン会長、グーグル シニア・サーチ・エヴァンジェリスト)

金谷春美 (03年外葡、ソフィア会常任委員、渉外法律事務所勤務)

遠藤昌子 (法法3年、nexnext2代目代表)

横山貴央 (総教3年、ソフィア祭実行委員会委員)

須見篤 (文哲3年、元ソフィア祭実行委員会委員)

●「ソフィア会ほど活発な同窓会はない」

——まず、みなさんは今のソフィア会をどう見ているのか。率直な感想を聞かせてください。

金谷(武) 他の大学に比べ人数は少ないですが、結束力が強いんですね。また、いろいろな業界で活躍されている方が多く、いい意味で個性的な人が多い。僕は現在働きながら慶應の大学院にも通っているのですが、慶應の同窓会は上智ほどまとまっていなくて感じます。また、慶應以外にも様々な大学の同窓会とつながりがあるのですが、他大学はもっと固い感じがあり、上智の方がシニアと若者が和気あいあいとやっていると思います。これほど活発に活動している同窓会はほかにはないと思いますよ。

金谷(春) 私も上智を卒業してから別の大学に行きましたが、そこは、同窓会に入るのは新たに会費を払わなくてはならないんですね。しかし上智は学生時代に払っていますから、卒業してから自動的にいろいろ案内をもらいます。同窓会に特別な手続きなく参加できるシステムがいいですね。

横山 僕は学生としてオールソフィアンの集い (ASF) やオールソフィアンのクリスマス (ASC) に参加してソフィア会の方たちと知り合いになりましたが、そこで感じたのは、このソフィア会がすべてのソフィアンをつなげる手助けをしているということでした。ASFなどで、私たちが70年代、80年代卒の方々と触れ合うことができる、その機会をソフィア会が作ってくれています。事務局の方もとてもフレンドリーに接してくれますし、いろいろ相談させてもらっています。

須見 僕も、同じ意見です。ソフィア会は、ASF や ASC に現役生がコミットできる機会を作ってくださっているの、そこでOBOGの方にお話することができる。これはすごくいいことだと思っています。

遠藤 私は最初、ソフィア会は敷居が高い組織というイメージがありました。やはり年代が上の方が多くですので、何を話していいのかと迷うところもあったんですね。しかし、ASFなどに参加してみると、みなさんが学生をウェルカムして、とても暖かく迎えてくださる。就活中には親身になってお話を聞いてくださったり。そんな形でソフィア会の方といろいろな関係を持てるんだなと思いました。

——でも現実的には、ソフィア会には若い世代の参加が少ないとか、いろいろ課題もあります。

金谷(武) 僕は最初に同世代の集まりであるネオソフィアンの集まりに参加し、その流れでソフィア会に参加するようになったのですが、やはりそこで世代間の違いを感じたことはあります。60代、70代の方が、なんでこんなに元気なのかと(笑)。それを一種の壁のように感じて、ソフィア会に来なくなる方がいるということも正直分かる気がします。しかし一方、ソフィア会には各種ソフィア会とか地域ソフィア会、ネオソフィアンも含めいろいろな会がありますので、全体で見ると若い世代も結構参加しているんですよ。ASF や ASCなどのソフィア会主催のイベントでもそうです。ですから、あえて若い世代を無理に取り込もうと考える必要もないのかなと思います。

●学生と卒業生を結びつけるものは

——学生のみなさんは、ソフィア会では準会員という立場ですが、ソフィア会には何を望みますか。

遠藤 学生にとって一番知りたい話題はやはり就職のこと、仕事のことだと思うんです。特に3年生は目の前の就活は乗り越えなくてはならない課題ですから、実際に働いている方、また退職された方からもお話を聞きたいんです。もう私は就活を終えてしまいましたが、就活を始める前にいろいろな業界のリアルな話を聞きたかったですね。実際に企業の説明会にいても聞ける内容は決まっていますし、企業は決してリアルな話はしてくれないですから。

横山 やはり説明会では聞けないような、業界の生の話を卒業生に聞きたいです。そうした声を聴くためにも、学生もASFとかいろいろな機会をとらえてソフィア会に参加する意義があると思うんです。金谷武明さんもおっしゃっていたように、ソフィア会には個性派の方が多いと思いますので、「いい会社、高い給料」ということだけではなく、「ああ、そんな生き方もあるんだ」というような話も聞きたいですね。

須見 就活がうまく行ったら安心してやっているような学生には、それは刺激になるんじゃないかな。もっと長めのスパンで将来を考えられるかもしれません。

横山 会社に入るのが目的ではなく、やはり重要なのは入ってからだということですね。

金谷(春) 私は実際、海外で経験したんですが、夏休みの間だけ、どこかの会社にアルバイトのような形で勤めてみるとか。ソフィア会の協力で、そうした業界のインターン制度のようなものがあってもいいですね。実際に仕事を体験できるということです。

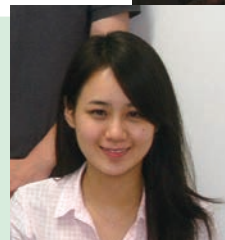
金谷(武) 僕がソフィア会のイベントに参加するようになったのも、社会人向けの転職をテーマとしたネオソフィアンのイベントに出たことがきっかけになっています。キャリアまわりはソフィア会の出番が色々ありそうですね。ソフィア会から声をかけてもらうことで、普段なかなかお呼びできないような方にイベントでお話していただくことも可能になると思いますし、学生の就活だけでなく社会人を対象とした転職のサポートとか、さらにはキャリア以外にもビジネスマッチングのようなこともソフィア会がサポートできる部分はあると思います。

——しかし、話を聞きたいという学生がいて、ソフィア会の中でもそういう話ができる人がいても、それがなかなか結びつかないという問題も。

金谷(武) そうなんですよ。この人の話は面白いと思って企画しても、そのとき学生が聞きたいと思ってるのはもっと身近な社会人の話だったりミスマッチになってしまう。だから、こういうテーマではこういう人がいるという業界や年代別のリストのようなものがソフィア会にあればいいと思っています。



ネオソフィアンのハロウィン



◀ 座談会出席者
左から須見さん、横山さん、
金谷武明さん、金谷春美さん、
遠藤さん、

これからのソフィア会に求められるものは

ソフィア会の上原新体制がスタートしました。上智大学創立100周年のさまざまな記念事業を経た今、ソフィア会をどう舵取りしていくのか。



●日本の先端を行く同窓会組織に

——ソフィア会の会員は、すでに12万人を超えています。

上原 僕は、12万人というのはちょうどいい規模だと思っているんですよ。あまりマンモスになってしまうと、中で何をやっているかわからない。そうした同窓会に集まるのはややもすると年配者ばかりで、財界人クラブのような雰囲気になってしまっている。そんな話も聞きます。それを考えると、僕はソフィア会は、全学同窓会組織としては日本の先端を行っていると思えています。高祖敏明理事長もおっしゃっていますが、ひとつのキャンパスの中に全学部が揃い、お互い交流しながら価値観を共有できる。それが上智のよいところだし、その延長線上にソフィア会もあるわけですから。

——確かに、ASFやASCなど、ソフィア会には在校生と一体となったイベントがあります。これらは、他の大学にはないものかもしれません。

上原 そうです。ASFやASCは学生も含めて若手ソフィアンが企画から参加していますね。これは、ソフィア会の活性化のためにも大事にしていく必要があります。ソフィア会は経済面も含めて、こうしたイベントをしっかりと支援していくべきだと考えています。

●結集できる新たな基盤づくりを

——しかし、ソフィア会にはどのような人がいるかわからないし、参加する方法もわからないという声もよく聞きます。

上原 卒業生がどのような企業に就職し、どのような分野で活躍しているのか、それはなかなかわかりません。しかしそれがわかれば、おのずと先輩後輩のつながりもできくると思うんですよ。個人情報保護法の問題もありますが、そうしたネットワークができれば、ソフィア会はさらに役に立つ組織になります。

——会社などで活躍している人は忙しくて、とてもソフィア会どころではないという声もあります。

上原 確かにそうですね。社会人になって5年、10年はそれこそ真剣に新しい世界に溶け込もうと努力しているわけですから、学校に戻ってネットワーク作りなんて考えていられないというのももっともです。僕自身もそうでしたから。

ですから、卒業生が能動的にソフィア会に参加してくれるのを待つだけでなく、こちらからどうしたらソフィア会に参加してもらえるのかを考える必

要があります。昨年までは、100周年という大きなイベントがあったので、それに向かって結集しやすい環境がありましたが、今後そうした環境をどう作るのか、それが大きな課題です。

——何か、いい手はありますか。

上原 今、ソフィア会の中で学部・学科同窓会がつつぎと設立されていますが、僕はこれがひとつのポイントだと思っています。こうした学部、学科単位のネットワークが後輩を助け、進路指導、就職支援にも結び付く。学生が、新しい分野に進んでいくときの助言者にソフィア会がなっていくことも可能だと思うんです。これまでの各種ソフィア会、地域ソフィア会ではカバーできなかった新しいコミュニケーション基盤が、この学部・学科同窓会の中でできつつあります。

●ソフィア会もグローバル化へ

——さて、上智大学はいま、グローバル化をさらに推進しているように見えます。ソフィア会でも、グローバル化は大きなテーマになりますね。

上原 これは大事ですね。ソフィア会も、大学のこうした動きに対応できる体制、組織にならなくてはなりません。今回、ソフィア会の専門委員会として国際委員会を作ったのもそうした考えがあったからです。大学が変わっていく中で、ソフィア会も大学と共同歩調を取れるのではないかと考えたわけですね。同時に、海外からの留学生、また日本から海外で学ぶ留学生の支援体制を強化するためにも、そうした組織が必要だと考えました。

——海外のソフィアンへの情報提供と同時に、留学生として上智に学んだ人たちの支援も必要ですね。

上原 外国からの留学生を取り込むこともソフィア会としてできるし、ソフィア会には大学のカリキュラムとは別の支援の仕方があると思うのです。今、金沢燦燦会が祖師谷の国際交流会館を拠点に、お茶とかお花とか、そうしたボランティアな支援をしていますね。今は、金沢燦燦会がやっていますが、ソフィア会としてもやるべきことがあると思います。卒業生にはお花の先生も日本舞踊の名取りも、画家も書道家もいるし、この大学は結構多彩なんですよ。ソフィア会の活動の幅が広がります。

——今日は、ありがとうございました。

●ソフィア会の新しい形

——ソフィア会がやるべきことは、まだまだありそうですね。

須見 今回の ASF では副委員長をやらせていただいたのですが、現役生も含め若い世代をもっと取り込めたらより楽しいイベントになったという気がします。ソフィア会のほうも、もっと学生に呼びかけてもらいたいですね。多くの学生にこういう機会があるということを知ってもらいたいと思います。

横山 僕は、ソフィアンズナウに載っている世界で活躍しているソフィアンなどの記事を見ると「ああ、こんな人がいるんだ」という形でいい刺激になります。

金谷(武) ソフィアンの間でも上智卒だということが知られていない有名人の方も多そうですね。そこで提案なんです、ソフィアアワードのようなものがあるとソフィアンの結びつきが強まるのではないかなと思うんです。表彰することが目的ではなく、上智には「こういう人がいるんだ」ということを広めるきっかけとして。それぞれの世代でトップランナーのような人をピックアップし、表彰式をやったりソフィアンズナウでちゃんと紹介して。上智卒ということが知られていない、すごい人というのはたくさんいると思うので、そういう人たちがアワードで注目されることで、ソフィア会が身近になっていくかな、と。

金谷(春) 私は ASF や ASC 以外の、いろいろな人が参加できるイベントがもっとあればいいと思います。講演会やゴルフもいいんですけど、週末に、もっと学生も含めて多くの人が集まれるイベントがあるといいですね。一方的に話を聞くような

講演会だとなかなか交流が難しい。それよりもっと簡単なイベントだと、いろいろな話ができる。インフォーマルなイベントを企画できないかと思っています。——ソフィア会に若手が入りたいという雰囲気を作る必要はありますね。

金谷(武) そうですね。まずはネオソフィアンのイベントにご参加いただければと思います(笑)。それから、大学に対して意見をいうのはなかなか難しいと思うのですが、ソフィア会を通してなら大学に対して建設的なアドバイスができるのではと考えています。僕が慶應の大学院に行ったのも、会社を辞めないで行ける大学院が上智にほとんどなかったからですし、そうした声も伝えたいですね。また、上智を特徴づけているグローバルということでも、これからグローバル化がさらに進んでいったときに、上智の特徴が薄れていく可能性がある。今、僕は外資系企業でスタンフォードやハーバード卒といった人たちと一緒に働いていて、こうした経験の中にも、ソフィア会を通して大学にフィードバックできることがあると思います。また、世界中で活躍するソフィアンに講師となってもらい社会人講座を開設して、それをソフィア会の会員は無料で見られるとか、そんな講座があってもいいですね。



最後は恒例の肩を組んでの校歌斉唱

春季 2014年全国代議員会 Report

新会長に上原治也氏(69経営)

2期6年を務めた和泉会長の後任決まる

ソフィア会は5月17日(土)14時半から、母校10号館講堂で2014年度春季代議員会を開催。次期役員の選任など6つの重要事項を満場一致で決議しました。

当日は364名が参加(委任状提出を含む)。今回の代議員会で任期満了となる和泉法夫会長から2期6年を振り返っての総括、2013年度重点施策の結果報告があり、議案の審議に入りました。注目された次期役員選任については役員選考委員会委員長の柳本信一郎氏(63経営)から選考結果の説明があり、原案どおり承認されました。新会長にはソフィア会副会長を務め、上智大学創立100周年記念事業募金委員会委員長としても尽力された上原治也氏。副会長、監事、代議員も改めて選任されました。6年間ソフィア会を牽引された和泉会長へ感謝の言葉と拍手が贈られました。



(単位:円)

2013年度収支決算書

自2013年4月1日～至2014年3月31日

項 目	2013年度予算(円)	2013年度実績(円)
【収入の部】		
1 同窓会積立金(終身会費)(注1)	54,800,000	58,333,000
2 入会金収入	1,100,000	1,100,000
3 維持会費(任意)収入	5,000,000	2,795,076
4 上智学院預け金利息	4,400,000	4,166,617
5 カード手数料収入(注2)	4,000,000	3,804,030
6 クラブ使用料収入	2,600,000	2,222,085
7 受取利息	20,000	1,356
8 その他収入(ネットショッピングなど)(注2)	600,000	1,521,660
収入計	72,520,000	73,943,824
【経常支出の部】		
1 事務局費		
事務局費用	13,140,000	13,228,715
2 事業費		
①広報費・ホームページ	8,130,000	8,077,050
②ソフィアズクラブ	5,350,000	5,212,678
③ 創立100周年記念募金	11,000,000	11,000,000
東日本大震災被災学生支援		3,600,000
④ASF運営費	4,000,000	3,581,926
⑤ソフィアズカード入会推進費	10,000	1,180
⑥地域・各種ソフィア会連携推進費	4,000,000	3,336,667
⑦学生課外活動支援費	8,000,000	8,000,000
⑧その他行事費	5,740,000	5,458,635
(寄付講座費、学生支援費、金銀銅祝、ゴルフ、クリスマス、顕彰費等)		
⑨ITインフラ支援	1,000,000	960,000
⑩100周年事業費(注3)	11,450,000	4,796,643
3 予備費	700,000	0
4 基金積立額	0	0
経常支出計	72,520,000	67,253,494
当期収支(収入 - 経常支出)		6,690,330
積立金		
期首積立額	460,653,017	460,653,017
基金積立額	0	6,690,330
当期積立金の取り崩し(注4)	0	△100,000,000
期末積立額	460,653,017	367,343,347

(注1)同窓会積立金(終身会費)は、学生が納入した時点で、これを分割前払で納入したものとしてソフィア会の収入に計上し、同時に上智学院に預けています。
(注2)カード手数料収入、一粒の種(ネットショッピングなど)の収入は、その案内の趣旨から、全額を課外活動支援、被災学生支援の目的指定の募金に優先して充当します。
(注3)100周年記念事業から、100周年募金360万円を充当しましたので、実質の支出は約840万円(約480万円+360万円)となります。
(注4)2013年全国代議員会の承認を得て2013年度積立金を取り崩し、新ソフィアズクラブ建設にかかわる寄付1億円を執行しました。



決議された議案と主な内容

- 新規登録団体(学部・学科同窓会、地域・各種ソフィア会) 14団体を承認
学部・学科／上智大学法学部同窓会、上智大学国際教養学部同窓会(SIAA)、上智大学英文学科同窓会、上智大学フランス文学科同窓会、上智大学心理学科同窓会
各種／ピタウ先生が語る会、上智大学放送研究会SBC OB会、日欧事情研究会、ドイツ語翻訳研究会、SMBCソフィア会、日本生命ソフィア会、ものづくりソフィア会、上智大学エッセイサバレン神父様withカトリック学生の会'77-'92 OB会、カロール日本語字幕版DVD製作委員会
- 推薦会員5名を承認
砂金学氏(13外独該当)、宇野俊夫氏(70文英該当)、柏井信二氏(72外西該当)、中村剛氏(66文英該当)、吉田三千代さん(71文新該当)
- 2013年度事業報告並びに決算報告案および監査報告と
2014年度事業計画並びに予算案を承認
- ソフィア会会則条文の一部改定について承認
- ソフィア会における公務と経費負担・補助規程について承認
- 次期ソフィア会役員(会長、副会長、監事、代議員)を選任
会長：上原治也(69経営)
副会長：ドナルド・イル(客員会員)、戸川宏一(63経営)、石川雅弥(65外英)、
細川佳代子(66文英)、濱口敏行(67経営)
監査役：松本正一郎(78経営)、長村彌角(89経営)、高野良子(98法法)
代議員：464名

*任期は3年間(2014年5月17日春季代議員会終了後から2017年の春季代議員会まで)

2014年度 ソフィア会重点施策

(ソフィア会会則第29条にある事業計画を兼ねる)

1

上智学院・大学との連携強化

- ◇上智学院・大学行事への積極的な支援・参画
- ◇SOPHIA未来募金支援の具体化
- ◇ソフィア連携室との協力体制の確立
- ◇新ソフィアズクラブ計画の具体化
- ◇上智大学教育研究及び奨学金支援目的のサポート会員制度の具体化

2

新たな100年に向けてのソフィア会事業の取り組み

- ◇グローバルな同窓会組織への発展の検討
- ◇NEXT100プロジェクトの推進
- ◇女性・若い世代の参画する組織体制・事業の検討

3

ソフィア会員との絆の強化

- ◇ソフィア会Webへの投稿の推進
- ◇月2回配信メールニュースの継続とメール会員の増加
- ◇ソフィア会FACEBOOKの活用強化
- ◇会員参加企画の充実(ASF／ASC／ゴルフ大会等)

4

地域・各種ソフィア会活動に対する連携・支援強化

- ◇学部・学科同窓会の支援強化
- ◇地域ソフィア会第6回全国大会(新潟大会)実施によるネットワーク強化
- ◇第2回アジア・ソフィア会の開催(上海)
- ◇新規の地域・各種ソフィア会設立の支援
- ◇海外メンター制度への支援

5

ソフィア会の健全な発展に向けての財政基盤の強化

- ◇ソフィア会基金の年間1000万円積立の継続
- ◇維持会費年間目標500万円の達成協力依頼と広報活動の強化
- ◇維持会費自動引き落とし利用者の増強

6

最高議決機関としての全国代議員会の役割強化と参加率の向上

- ◇代議員のWeb・メール利用の周知と利用率100%をめざす
- ◇代議員の専門委員への参画強化

7

現役学生支援強化と学生との連携企画の充実

- ◇継続的課外活動支援(予算800万円)
- ◇学生との連携企画(ASF・ASC等)
- ◇就活支援企画

新規代議員、登録団体などを承認 会則やソフィア会 顕彰規程も一部改定

ソフィア会は10月18日(土)に10号館講堂で2014年秋季全国代議員会を開催、国内はもとより海外からの代議員も含む380名(委任状含む)が参加しました。

冒頭、上原会長が「大学や学生を取り巻く環境は日々著しく変化している。変えるところは変え、継続するべきところは継続する」とソフィア会会長としての決意を表明。続く高祖上智学院理事長、早下隆士上智大学学長の挨拶のあと、審議事項の説明に入りました。ここでは、申請のあった新規代議員、登録団体を満場一致で承認、また会則、ソフィア会顕彰規程についても承認されました。

その後、各専門委員会を中心に、この間のソフィア会の取り組みについてそれぞれの責任者が報告。ソフィア会の新たな姿が説明になりました。



決議された議案と主な内容

- ① 新規代議員12名を選出(敬称略)
(一般推薦代議員)青柳敬子、津久井博次、大森義昭、穴戸周夫、東條正和、権田光洋、渡邊英司、寺脇加恵、金谷春美、宮地信幸、蓮沼尚子、高瀬千恵(なお、2014年春季全国代議員会以降に届出を受理した登録団体を代表する新規代議員は、次の方々です。駒澤辰弥、加藤史之、岡山康子、町田雅昭、板垣正和、相沢和子、黒水則顯、永田啓子、平野真弓、宮野正昭)
- ② 新規登録団体(地域・各種ソフィア会)9団体を承認
地域／アイルランドソフィア会
各種／KANDENソフィア会、井上英治先生ゼミOB・OG会、外英71年入学同期会、上智大学ソフィアギターアンサンブルOP会、テニス同好会SLTA OB&OG会、ソーシャル・グッドを生み出すソフィアの会、EY(Ernst & Young)ソフィア会、参火会
- ③ 新規登録団体(学部・学科同窓会)1団体を承認
上智大学社会福祉学科同窓会
- ④ ソフィア会会則条文の一部改定を承認
- ⑤ ソフィア会貢献者に対する顕彰規程改定を承認

第4回ソフィア会会員大会を開催

5月25日、10号館講堂では金・銀・銅・ルビー祝式典に続いて、ソフィア会会員大会が開かれました。まず春季代議員会で新会長に選任された上原会長が就任の挨拶。「100周年記念事業への積極的な参加と多大な募金をありがとうございました。100周年が成功裏に終わったのは全ソフィアンが一丸となった賜物。次の100年に向けてもぜひ協力をお願いしたい」と挨拶。その後、戸川副会長(63経商)が会務報告として、春季代議員会で選任された新役員の紹介や100周年記念事業募金、記念行事を中心とする2013年度重点施策の実施報告、新ソフィアンズクラブの概要を説明。最後にASF2014実行委員長、金谷武明氏(95法法)が「グローバル」をテーマにした今年のASFの開会を宣言しました。

金・銀・銅・ルビー祝式典華やかに

5月25日、母校主催の金・銀・銅・ルビー祝式典が四谷キャンパス10号館講堂で行われました。今年から卒業40周年を記念するルビー祝も新たに加わり会場は満席近い盛況ぶり。卒業50周年の金祝(1964年卒)は967名、卒業40周年のルビー祝(1974年卒)は1,718名、卒業25周年の銀祝(1989年卒)は2,464名、卒業15周年の銅祝(1999年卒)は2,521名が対象。早下新学長から各代表にラテン語で書かれた祝状と花束が贈られました。海外在住の列席者もいて、卒業生のグローバルな活躍が伺えました。その後、各祝賀会場も旧交を温めあう参加者で大賑わいでした。



祝状と花束の贈呈



熱気あふれる会場

式典での代表の方々(敬称略)

- ＜金祝1964年卒＞
挨拶:林 朗也(外仏)
祝状:神田浩太郎(法法)
花束:Kaufman政子(外英)
- ＜ルビー祝1974年卒＞
挨拶:八木達郎(経営)
祝状:関口峯夫(経営)
花束:井上弓子(文仏)
- ＜銀祝1989年卒＞
挨拶:山野哲也(経営)
祝状:若山清和(経経)
花束:安藤東愛(文社)
- ＜銅祝1999年卒＞
挨拶:高山香代子(文教)
祝状:金田紀子(文英)
花束:阿部亜古(文史)

卒業生の募金総額が目標額を上回る12億52万円に!!

創立100周年記念事業募金における卒業生の目標額10億5,000万円は、当初途方もない金額に思われましたが、延べ15,529人の個人、1,117の団体、30人の卒業生オーナー企業の皆さまの母校発展を願う熱いお気持ちが反映して目標額を大きく上回る12億52万円を達成して終わりました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

【大学全体】

- ・募金目標額 5,050,000,000円
- ・募金実績 3,788,854,037円

【ソフィア会(卒業生)】

- ・募金目標額 1,050,000,000円 (全体に占める割合 20.8%)
- ・募金実績 1,200,524,300円 (" 31.7%)

【寄付金の使途状況】(創立100周年記念事業募金報告書より)

- ・個性が際立つ教育研究の進展 1,195,722,841円
- ・奨学支援の拡充と基金の新設 1,350,430,130円
- ・キャンパス再興計画の実現 1,242,701,066円
- 合 計 3,788,854,037円



ALL SOPHIANS' FESTIVAL 2014

「2014年5月25日(日)、2014年度のAll Sophians' Festivalを開催いたしました。」

今年のASFは「上智大学創立101年日、次の100年に向けての第一歩」として、世界中で活躍するソフィアンをつなぎ、その叡智を未来のソフィアンへつないでいくために、「グローバルに活躍するソフィアン」というテーマで開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、100周年を除くとこれまでで最多の8,528人もの方にご来場いただきました。イベントはいかがでしたでしょうか？みなさまにとって何か少しでも気づきや発見のある、何かのきっかけにつながるようなイベントとなっていましたら幸いです。

実行委員会としても、今回の開催内容を踏まえ、来年はさらに素敵な時間をみなさまと過ごせるよう工夫を重ねていきたいと思っておりますので、ぜひ、楽しみにして下さい。

それでは改めまして、ご来場いただきましたみなさま、ありがとうございました。2015年5月の最終日曜日、上智大学でお会いできるのを楽しみにしています！

ASF2014 実行委員会を代表して
実行委員長 金谷武明



石倉洋子さん講演会



藤崎一郎さん講演会



晴佐久昌英神父講演会



神父カフェで山岡三治先生と



スタッフ大集合！



理事長・学長・会長揃い踏み



卒業後50周年の金祝



卒業後25周年の銀祝



卒業後15周年の銅祝



助産師と一緒にハイマ体験



注目のASFメイド喫茶



婚活・交流イベント「ゆる婚」



大人気のSophians' Quilt Society



キャリアイベント



サンバで最高潮!

2015年も5月の最終日曜日は
All Sophians' Festival

2015.5.31

ソフィアの の広場

今期も沢山の投稿をありがとうございました。誌面のスペースの制約から全ての投稿記事と写真を紹介できませんが、少しでも多く掲載すべく、記事は目一杯短縮させていただきました。ホームページには全て掲載されていますので、どうぞ海容ください。いつものお願いですが、お送りいただく写真は1メガ以上のサイズをお願いします。皆さまに目を通していただけるよう、集合写真を並べるだけでなく、サイズに変化をつけたり、土地の風景などを掲載してアクセントをつけたいと思いますのでご協力ください。

学部・学科同窓会

ドイツ語学科 同窓会

■開催日:2014.05.25

建部 博(71外独)、山田 洋子(77外独)

ASFの日に恩師の先生、現役の先生、卒業生、現役学科学生、ドイツからの留学生、またドイツ語振興サークルDeutscher Ringの皆さん約120名余りの参加を得て、盛大かつ和気あいの同窓会を開催しました。



フランス文学科 同窓会

■開催日:2014.05.25

副会長 梅本 純子(82文仏)

ASFの日、フランス文学科同窓会の設立総会を開催しました。細郷輝久会長(71卒)の挨拶と活動報告にて同窓会設立の経緯が説明されました。昨年のASFの「仏文カフェ」で初めて学科の卒業生の集まる場ができ、その流れから母校100周年の佳き年に会長以下役員5名、発起人20名による同窓会設立に至りました。



国際教養学部 同窓会

■開催日:2014.05.25

事業企画委員長 梶野 理恵(88外比)

国際教養学部同窓会(SIAA)が、11号館地下カフェテリアにて正式に発足しました。役員は11名、発起人は約100名で、設立総会、懇親会共に大盛会でした。本学部・学科同窓生の特徴でもあります国際性、多様性、柔軟性の意味を改めて思い、和やかな雰囲気の中にも気が引き締まる思いでした。



英文学科 同窓会

■開催日:2014.05.25

副会長 平野 由紀子(82文英)

ASFの日、2号館の508教室は、久しぶりに四谷キャンパスを訪れた卒業生で満席になりました。学科を通しての同窓会を切望する声は以前からありましたが実現に至らず、母校創立100周年を機に新たな101年目のスタートとして、多くの卒業生の願いがようやく実を結ぶこととなりました。



海外ソフィア会

41か国62の都市にソフィア会があり、折々集まって親睦を深めています。



マドリッド ソフィア会

■開催日:2014.05.05

川端 真砂子(68外西)

我謝京子監督(外西87)のドキュメンタリー「311ここに生きる」の特別上映会がマドリッドで開かれ、3名の会員が参加しました。

〈ヨーロッパ地域ソフィア会〉

デュッセルドルフ ソフィア会

■開催日:2014.07.05

新井 一郎(81外独)

夏のイベントBBQ大会を市内のライン河沿いで開催。サッカーW杯のドイツチームの活躍もあり、悪天候にもめげず大変盛り上がりました。日頃粗食に耐えて勉学に励んでいる留学中の皆さんには手作りの栄養をたっぷり補給していただきました。



ミュンヘン ソフィア会

■開催日:2014.07.12

シシカ小木曾かほる(72文社)



今年のミュンヘンソフィア会はこれまでと大きく変えて時期は夏、場所はフレンチ・ビストロになりました。14名が参加してのフレンチのコースに「美味しい」が連発されて、担当幹事も皆さんに満足していただき喜んでいました。

〈南北アメリカ地域ソフィア会〉

LA ソフィア会

■開催日:2014.06.08

原田 起志夫(72文教)

今年も南カリフォルニア大学対抗ゴルフ大会が、23大学、158名の各校選手が参加して行なわれました。本年度は第30回の記念イベントで上智が幹事校。1年掛かりで大会の準備を進め、大成功の大会となりました。



〈アジア地域ソフィア会〉

台湾 ソフィア会

■開催日:2014.06.07

土井 泰一(95法法)

台北大倉久和大飯店に台湾ソフィアンとそのご家族が集い、台湾ソフィア会創立20周年記念の懇親会を開催しました。また、長年、台湾ソフィア会の発展に尽力された 漳黄教さん(89年経営卒)の名誉会長就任セレモニーも行いました。



シドニー ソフィア会

■開催日:2014.07.29

中舩 貴信(81外西)

8月に日本に帰任される小西さんの送別会を兼ねた懇親会を開催しました。当日は初参加のメンバーも5名おられ、小西さんの帰任を惜しみつつも、今後の会の盛り上がりが期待されます。

フランス ソフィア会

■開催日:2014.08.01

菅 佳夫(63外仏)

パリの日中の気温は29℃で夏らしい天気でしたが、夕刻はセーヌの川風も涼しく、パリ・プラージュの参加者は稲門会8名+狎1匹、三田会2名そしてソフィア会は6名。話題もワインも尽きる事無く、和気藹々の集いでした。

デトロイト ソフィア会

■開催日:2014.09.13

会長 石川雅子(87外西)

ウエストブルームフィールド市の中華料理店の円卓をソフィアンとご家族が囲み、一年ぶりに懇親会を開催しました。初めて同会に参加される方もおり、当地でご活躍のソフィアンやご家族の近況を分かち合い、会は笑顔でお開きとなりました。

メキシコ ソフィア会

■開催日:2014.09.18

内藤 陽子(02文新)

2014年4回目となるメキシコソフィア会をメキシコシティで開催しました。2012年卒の若者から、メキシコ在住50年の大先輩まで、幅広いソフィアンが集い、楽しいひとときを過ごしました。最近では2、3ヶ月に1回のペースでソフィア会を催しています。



ソウル ソフィア会

■開催日:2014.07.09

大澤 淳(05法法)

明洞の中華料理店にて、ソウル・ソフィア会を開催しました。18名が集まり、円卓を囲みながら昔話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。なお、小川会長は今回が最後のご出席となり、後任に坂井会長が就任されました。



バンコク ソフィア会

■開催日:2014.07.12

会長 田村 優子(80文新)



バンコク・ソフィア会は現在80名近くの方が登録されており、定例の食事会を年2回、6月と12月に開き、またゴルフコンペも年3-4回実施しています。今後はタイ・ソフィアンのネットワークを広げてゆくことを目標に掲げています。

カンボジア ソフィア会

■開催日:2014.08.09

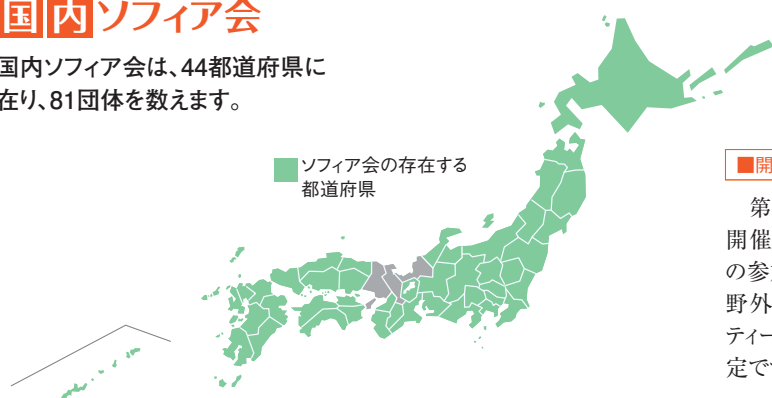
カンボジア王立プノンベン大学客員研究員/貝塚 乃梨子(13院前G地)

首都プノンベンにて第2回目の総会・懇親会を開催しました。今回はカンボジア在住のソフィア会会員11名に加え、日本から石澤元学長および建学の精神を学ぶ旅-ソフィア・アジアミッションを訪ねる旅に参加中のOB・OG21名の方々もご参加くださり、総勢33名の盛大な会になりました。



国内ソフィア会

国内ソフィア会は、44都道府県に在り、81団体を数えます。



ソフィア会の存在する
都道府県

名古屋 ソフィア会

■開催日:2014.06.14

会長 武田 英裕(73経経)

名古屋ガーデンパレスにて、5年ぶりの総会・懇親会を開催しました。1960年卒から2014年卒まで65名のソフィアンが集い、キャンパスや学園生活の思い出を語り、旧交を温めました。また、ご多忙の中、ソフィア会細川副会長(66文英)、上智大学の木村主幹にもお越しいただきました。



板橋 ソフィア会

■開催日:2014.06.22

会長 佐藤 直樹(65外露)

創立20周年を記念してハッピーロード商店街・ハロープラザ2階「コミュニティホール」で「第20回総会・懇親会」を開催しました。来賓としてソフィア会石川副会長をお迎えし、区外から参加された方も含め21名が集いました。



鳥取 ソフィア会

■開催日:2014.05.24

今岡 嗣雄(60経商)

ハーベストイン米子にて第7回鳥取ソフィア会を開催しました。参加者9名で予定よりかなり少なく、また女性、若い人の参加が無く、今後課題を残しました。会長からの母校創立100周年記念式典の報告のあとDVD「上智大学100年のあゆみ」を鑑賞しました。

さいたま ソフィア会

■開催日:2014.06.29

事務局 古屋 毅(57経商)

浦和・別所沼会館にて「さいたまソフィア会13周年記念パーティ」を開催しました。当日は、40名のソフィアンと大学からお招きした高祖理事長、藤崎一郎教授、ソフィア会戸川副会長が一堂に会し、なごやかな交流の午後のひと時をすごしました。



アルプス ソフィア会

■開催日:2014.04.27

会長 大宮 康彦(69法法)

第4回の上高地開山祭"ソフィアンの集い"を開催しました。好天にめぐまれ東京や山梨からの参加者も得て20人のソフィアンが河童橋横の野外ですばらしい穂高連峰を仰ぎながらパーティーを楽しみました。来年も4月27日の開催予定です。皆さまのご参加を歓迎します。



藤沢 ソフィア会

■開催日:2014.05.17

石井 はるみ(72文社)

「Third Floor」にて藤沢ソフィアンの集いを持ちました。第一部は引間特任教授の講演で、上智大学の現状をわかりやすくお話しいただきました。32名の参加者で会場は満杯。楽しい会でした。今後は暑気払い、歩こう会、そば打ちなどを計画しております。

ものづくり ソフィア会

■開催日:2014.05.25

橋 泰伺(97理機)

ASFに合わせて設立総会が開催され、初代会長に清水伸二氏(上智大学名誉教授、81理機)を選出し、新団体としてスタートしました。第一部設立総会では、副会長の増田照彦氏(75外英)による「ものづくりは人づくり」の特別講演。第二部の懇親会と合わせて40名を超える方々が参加され、年代、業種、文理を超え広く「ものづくり」の和のもとに交流を深めました。



福岡 ソフィア会

■開催日:2014.06.28

西村 仁宏(87経営)

『福岡ソフィア会・夏の懇親会』を、福岡市内の「Bar Vita Tenjin」で開催しました。地域懇談会のために来福された、杉本人事担当理事をはじめとする10名の大学スタッフや、北九州ソフィア会からもご参加いただき、華やかな懇親会となりました。



立川 ソフィア会

■開催日:2014.06.29

事務局 平野 善則(77経経)

立川パレスホテル内のレストランにて第13回立川ソフィア会を開催しました。16名が参加し、ソフィア会からは石川副会長にお越しいただき、ソフィア会の現状などをお聞きました。

四街道 ソフィア会

■開催日:2014.07.06

会長 立石 義明(62経経)

DIC川村記念美術館内のレストランにて第4回四街道・佐倉ソフィア会を開催しました。当日は、ソフィア会の星島組織委員から母校の現況などをお話いただきながら会員28名と共に楽しいひと時を過ごしました。来年も是非この場所での望む声も多く、次につながる会になりました。



千曲川 ソフィア会

■開催日:2014.07.12

幹事 初内 裕子(84外露)

千曲川ソフィア会第8回総会を開催しました。1959年卒から2009年卒までの会員31名の出席に加え、大学から総務局の木村主幹、アルプスソフィア会から2名のご来賓をお迎えし、総勢34名の賑やかな会となりました。



広島西部 ソフィア会

■開催日:2014.07.26

会長 賀谷 隆太郎(75理化・77院前理応)



2014年度広島西部ソフィア会を、世羅別館で開催しました。ソフィア会より榎原常任委員、広島東部ソフィア会より小林会長にご出席をいただき、総勢40名近くの楽しい会となりました。

各種ソフィア会

碁鷺会

■開催日:2014.05.24-25

碁鷺会事務局 古屋 毅(57経商) / 宇佐美 諭(75法法)

5月24日は麹町・ダイヤモンド囲碁サロンにて恒例のオールソフィアンズ囲碁大会を開催。35名のソフィアンたちが一日熱戦を繰り広げました。また、ASFにはおなじみのソフィアン「碁サロン」を1号館305号教室に開設。会場オープンの11時前から囲碁研OBの強豪が来場して女流インストラクター・下田和美さんに挑戦しました。



ポルトガル語学科同窓会

■開催日:2014.05.25

事務局 後藤 達三(88年外葡)

今年もASFに合わせ大学にて同窓会の集いの場を持ちました。第一部の年次総会では各種報告や意見交換など、第二部は同窓会員が関わっているブラジルやポルトガルなどに関する各種活動の紹介、ポルトガルのワインやブラジルのガラナを楽しみながらの懇親会等々、約半日楽しいひと時を過ごしました。

ソフィア・森の長城プロジェクト会

■開催日:2014.05.31

事務局 穴原 謙(71外西)

真夏のような好天に恵まれた5月31日、宮城県岩沼市にて公益財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」(理事長:細川護熙元首相)が主催する植樹祭に、当会から学生も含め約30人が参加しました。

東日本大震災の被災地沿岸部に津波からいのちを守る防潮堤を築くために、震災瓦礫を埋めて、ほっこらとした盛土を築き、その上にシイ・タブ・カシ類を中心とした土地本来の木々を植樹して森にしていこうという、10年がかりの壮大なプロジェクトです。今回は全国からボランティア6,000人により約7万本の植樹をしました。



香川 ソフィア会

■開催日:2014.07.27

元山 多美子(81外西)

高松市のアルファあなぶきホールにて平成26年度総会及び懇親会を開催しました。ソフィア会の榎原組織委員長にお越しいただき、1961年～2006年卒業のソフィアン16名が集いました。徳島ソフィア会からのご参加や、里帰りを利用してのご参加もあり、新しい出会いの日でもありました。



埼玉西部 ソフィア会

■開催日:2014.07.27

松田 正巳(57経経)

異常に暑い夏を暑気払いで乗り切ろうと、小江戸川越の「川越百万灯夏祭り」に合わせて、川越で「2014年盛夏の集い」を開催しました。富士見市の大澤 猛さん、志木市の今里智見さんも新たに参加され、20名ほどで賑やかに親睦を深めました。



イスパニア語学科

■開催日:2014.05.25

事務局 穴原 謙(71外西)

ASF開催のキャンパスにて、恒例のイスパニア語学科同学会を開催しました。卒業生部会の総会に引き続き、現役学生10数人と、学科のOB/OGの先生、谷外国語学部長、吉川学科長をはじめとする現役の先生方の出席を得て親睦会を開催。在留がそれぞれ40年、35年になる佐々木正夫氏(ブラジル)、松本丞治氏(ドミニカ)も駆けつけてくださり交流の輪が広がりました。



その他、スペースの関係でご紹介できませんが、以下の団体から投稿をいただきました。ソフィア会ホームページ(HP)の掲載月日を記しましたので、HPにて該当の記事を閲覧ください。

団 体 名	開催月日	HP掲載月日
41経の会	2014.04.15-16	2014.04.28
トヨタ自動車(株)ソフィア会	2014.04.18	2014.05.01
酒譜会(S43卒法律学科A16)	2014.04.19	2014.06.11
新聞学科S42年度入学生同窓会	2014.05.10	2014.05.22
中部電力ソフィア会	2014.05.16	2014.06.19
D34(フランス語学科S39年卒)クラス会	2014.05.25	2014.07.17
体育会ラクロス部OB・OG会	2014.07.12	2014.08.15
日本通運(株)ソフィア会	2104.07.29	2014.08.08
NEC宇宙ソフィア会	2014.07.30	2014.08.06

セミナーシリーズ「法と実務の最前線」を立ち上げ

法学部同窓会(SLA)

2014年2月15日の設立総会を経て正式に発足した法学部同窓会(SLA)は、5月のASFでは会員大会と懇親会を、また10月にはゴルフコンペを開催するなど、順調に活動の輪を広げています。

加えて、7月からは「法と実務の最前線」と銘打ったセミナーを立ち上げました。

法学部教員などを講師にして、ホットな法律問題を取り上げるもので、7月14日に開催した第1回には法学部の古城誠教授を迎え、「福島原発事故と完全規制改革－原発と電気料金の行方」をテーマに講演。

当日は、企業・官庁で法律実務にかかわる同窓生などを中心に20数名が参加、その後の懇親会も含めて熱心な質疑応答などを行いました。これに続き、第2回目として2015年1月13日に、「社内発明の帰属」をテーマに駒田泰土教授が講演します。詳細は順次、Webサイトなどでお知らせしますので、ご期待ください。



12月14日に設立記念大会を開催

社会福祉学科同窓会

上智大学創立101年目の新たなスタートを機として、念願の「上智大学社会福祉学科同窓会」が正式に発足致しました。

社会福祉学科は、1966年開設の社会科学部社会福祉学専攻を前身とし、1976年に学科として創設。2005年の文学部から総合人間科学部への移行を経て、まもなく創設40周年を迎え、現在約2,000名の卒業生を擁しています。

このたびの学科同窓会設立に当たり、下記要領にて設立記念大会を開催します。本同窓会は学科教授会と連携のうえ、学科卒業生・研究科修了生と教職員(退任者を含む)全員が参加する集まりです。文学部・総合人間科学部社会福祉学科卒業生、総合人間科学研究科社会福祉学専攻修了生の方の他に、1978年以前卒業の社会科学部社会福祉学専攻卒業生、また文学研究科社会学専攻社会福祉学修了生の方もぜひご参加ください。

日時：2014年12月14日(日)13:30～16:00

場所：上智大学2号館5階 学生食堂

詳細はソフィア会Webサイトをご覧ください。

また、お問い合わせは上智大学社会福祉学科同窓会まで。

shafuku-alumni@sophiakai.gr.jp

理事会メンバー募集中

国際教養学部同窓会(SIAA)

国際教養学部同窓会(SIAA)は、毎月理事会メンバーが集まり、自分たちも楽しめ、かつ現役学生にも貢献できるような活動を目指し、和気あいあいとさまざまな課題について議論しています。会員に対する懇親会の企画はもちろん、海外にいるSIAAの会員とどのように繋がれるか、どうしたら会員数を増やせるのか等々議論し、今後の同窓会活動の素地を築いているところです。

最近、学生から就職、特に希望職種について先輩方からお話を伺いたい、との相談もありました。SIAAの就職については一般的な学部よりも多様な状況なので、SIAAならではのアドバイスも重要です。現在卒業生でこうした業界ごとに説明会をできないか、学生の要望も踏まえながら検討中です。

これを機に、会員と現役学生との交流の場も積極的に設けたいと思っています。まだまだ理事会のメンバーが足りないの、月に一度でも参加頂ける方を募集しています。我々と一緒に活動しませんか？



経覧会総会を開催しました

経済学部同窓会(経覧会)

2014年10月25日、経済学部同窓会(経覧会)は第26回経覧会総会を2号館201教室で開催しました。総会の審議事項が原案どおり承認可決された後、山田幸三経済学部長から「経済学部の現状」と題した講話をいただきました。

引き続き、「産業論特講Ⅱ」の非常勤講師を務めている1971年経済学科卒の戸川清氏が講演。日立化成で専務執行役員をされた戸川氏は、講義で学生に伝えたいこと、海外在勤時代のこと、自らの業績達成度や会社の業績を独自のマーケティング手法を駆使した評価の結果発表など60分の持ち時間があったという間に過ぎていきました。最後に聴衆を代表した早下学長との質疑応答があるなど内容濃い講演でした。

引き続き9カフェに場所を移し、早下学長のご挨拶、本多元ソフィア会会長の乾杯の発声をいただき賑やかに懇親会を開会。途中で短期大学部の式典に出席されていた高祖理事長が急ぎ駆けつけてくださり、4つの中高一貫校との合併協議開始の裏話などを披露、さらに盛り上がりを見せた懇親会は和やかな内に閉宴となりました。



父路門フランソワ先生の追悼行事を企画

フランス文学部同窓会

先生(8月9日帰天)をしのび、つぎの3つの追悼行事を企画しています。

①追悼ミサ／2014年12月6日(土)15:00～16:00、カトリック麹町教会(聖イグナチオ教会)主聖堂

②父路門フランソワ先生をしのぶ会／追悼ミサと同日の17:00～19:00、上智大学9号館地下カフェテリア(会費3,000円、ご家族1,000円、小学生以下のお子様無料)

③追悼文集／父路門先生への感謝をこめて追悼文集(1冊1000円)を製作したく、下記要領で原稿を募集いたします。

文集原稿メ切：2015年1月31日(土)

内容：学生時代の思い出・卒業して社会人、家庭人となってからの先生との関わり・今、先生に語りたいことなど、何でも自由にお書きください

文字数：800字～1200字程度

詳しくは、上智大学フランス文学部同窓会まで。

futsubun-alumni@sophiakai.gr.jp



奨学金と寄付講座をスタート

理工学部同窓会

理工学部同窓会は、11月1日に第1回会員大会を開催し、これまでの活動報告と、次年度に向けた活動計画の紹介を行いました。大きな活動の一つが、理工学部のグローバル化に資する活動を行う学生に対する支援で、夏休みにカルフォルニア大学デービス校で実施された英語研修プログラムに参加した機能創造理工学科3年の2名の学生に奨学金を支給しました。来年の春休みに実施されるプログラムへの参加者3名にも奨学金を支給する予定で、現在募集、選考中です。

もう一つは、理工学部が全学に提供する秋学期のキャリア形成科目「つくる」を同窓会の寄付講座として提供しています。理工学部卒業生12名にお願いし、幅広いものづくり(食品、細胞、情報システム、半導体システム、二輪車、航空機、エネルギーなど)について講義していただくもので、毎回200名以上の出席者(半数以上が文系の学生)で教室が満席状態になっています。講義内容、その他の活動は下のURLをご参照ください。

<http://www.sophiakai.jp/blog/rikougakubu-alumni/>



2014年度ソフィア会学生課外活動 支援金贈呈セレモニーを開催

ソフィア会は、学生課外活動の一層の活発化を促進するための支援金を55団体(文科系14団体、体育会41団体)に贈りました。文科系団体については、登録団体からの申請を学生センターが5～6月にかけて公示により受け付け選考。体育会については、所属団体の上部組織である体育団体連合会常任委員会(委員長:平田雄一)に配分案作成を依頼し、ソフィア会常任委員会で協議して決定しました。支援金額は文化系各団体に10～20万円、体育会各部に5～20万円。

贈呈セレモニーは7月21日(月)にL号館921会議室で、来賓に早下学長ほか大学関係者を迎え、団体の代表者一人ひとりに上原ソフィア会会長が贈呈目録を手渡しました。

これを受け、学生を代表して古川雄太管弦楽部長が「今年もソフィア会から貴重な支援金をいただき感謝申し上げます。諸先輩の気持ちのこもった支援金を皆で大切にに使わせていただき成果に繋げたいと思います」と謝辞を述べました。



<受賞団体>

文化系団体 : Sophia Debating Society、Sophia Comedy Society、めぐこ、奇術研究会、放送研究会、E.S.S.、グリークラブ、箏曲部、JAZZ研究会、吹奏楽研究会、アレグリアス、ソフィアギターアンサンブル、管弦楽部、STPカンボジア

体育会 : 合気道部、アイスホッケー部、アメリカンフットボール部、ウインドサーフィン部、応援団、空手道部、弓道部、競技ダンス部、剣道部、グラウンドホッケー部(女子)、ゴルフ部、サッカー部、柔道部、自動車部、少林寺拳法部、水泳部、スキー部、卓球部、硬式庭球部(男子)、硬式庭球部(女子)、ソフトテニス部(男子)、ソフトテニス部(女子)、バスケットボール部(男子)、バスケットボール部(女子)、バドミントン部、バレーボール部(男子)、バレーボール部(女子)、ハンドボール部、フェンシング部、フライングディスク部、ボクシング部、硬式野球部、準硬式野球部、女子野球部、洋弓部、ヨット部、ラグビー部、ラクロス部(男子)、ラクロス部(女子)、陸上競技部、ワンダーフォーゲル部

第55回上南戦

上智大学が総合優勝(3連覇)を果たす!

第55回を迎えた上南戦は5月30日～6月1日の3日間、南山大学キャンパスを中心に全32競技が行われ、上智が21勝10敗1引き分けで圧勝、昨年、一昨年に続き総合3連覇を果たしました。

大会初日のゴルフとアイスホッケーで勝利した上智は、2日目に入るやバドミントン男子、アメリカンフットボール、ラグビー、弓道女子、洋弓女子、陸上競技などが次々勝利し総合優勝を決定づけました。特に硬式庭球、剣道、バレーボール、ラクロスは男女ともに勝利し上智の総合優勝に貢献しました。

アウェーでの上智の勝利は43回大会以来6大会ぶり。閉会式で大会会長の南山大学カルモノ学長から優勝カップが上智の荒井実行委員長に贈られると、上智選手団から歓喜の声と共に大きな拍手が沸き上がりました。これで上南戦の通算成績は上智の34勝16敗5引き分けとなりました。



OBOG交流会を開催

今年で7年目となるOBOG交流会が10月25日(土)に開かれました。10名の卒業生に対して、約70名の学生が参加しました。約3時間のセッションでしたが、お互い有意義なものとなったようです。

6年前に一人の学生の希望で有志で始まった会が、キャリアセンターとソフィア会が協力する形で発展し、継続するようになったのも、新しい時代のニーズと言えるでしょう。卒業生でご参加頂いた方々、ありがとうございました。今後も継続的に協力していきたいと思います。



上智大学建学の精神を学ぶ旅

カンボジアのソフィア・アジアミッションを訪ねる

8月6日～11日、カンボジアツアーが実施され、21名が参加しました。ツアー参加2回目の方も多く、ソフィア・ミッションは何故1989年以来遺跡保存事業を続けているのか、それが上智大学の建学の精神とどうつながっているのか、さらに経済的には決して豊かとは言えないのに今もアンコール遺跡とともに生きているカンボジアの人たちはなぜ元気で、明るい笑顔なのか参加者それぞれが問う旅となりました。

今回の旅では、もっとも人気のあるアンコール・ワット、アンコール・トム、タ・プロム(遺跡を発見当時のままの状態に残している)の3つの遺跡のほか、アンコール王朝(802～1431年頃)以前の、7～8世紀のいわゆるプレ・アンコール時代に属するサンボール・プレイクックの古い遺跡を訪問。アジア人材養成研究センターでは石澤先生ご自身が、1時間半に亘ってソフィア・ミッションの流れをスライド付でレクチャー。シェムリアップのホテルではルクセンブルグ大司教のオロリッシュ先生一行との望外の再会もありました。

首都プノンペンでは国立博物館およびポル・ポト政権時代に政治犯を収容したトゥールスレン博物館を見学。さらにまた、エク・ブンタ会長他在カンボジアのソフィアン12名にツアー参加者がジョインして、昨年設立されたカンボジア・ソフィア会の設立1周年記念懇親会を開催し、カンボジア在住のソフィアンにエールを送るなど、中身の濃いツアーとなりました。



2014ソフィアンズカップゴルフ大会

9月8日(月)、第19回ソフィアンズカップゴルフ大会が開催されました。今年は会場を茨城県の名門「大利根カントリークラブ」に移し、136名のソフィアンが参加。当日は好天に恵まれ、井上誠一氏設計の見事なコースを堪能しました。ラウンド後には懇親会が催され、各賞の表彰とともに、特別賞として細川護熙氏の書が抽選で贈呈されました。



主な成績は次の通りです

優勝	二塚 博司(75法法)
準優勝	佐藤 正樹(79経経)
3位	篠原 信夫(80文教)
ベストグロス賞	
黒ティの部	藤澤 暁夫(86外英)
	佐藤 正樹(79経経)
青ティの部	村木 芳人(76文社)
白ティの部	本多 義人(61経経)
緑ティの部	伊藤 恵理子(75理数)

第2回アジア・ソフィア会 「上海大会」を開催

第2回アジア・ソフィア会上海大会が11月7日(金)～9日(日)の3日間、小南国花園飯店で開催されました。大学からは高祖理事長と早下学長、またアジア8か国からソフィアンとそ



のご家族、中国人留学生など65名(日本から26名)が参加しました。大会の中で高祖理事長は、上海のカトリック系復旦大学との交流を一層深めることで合意したことを表明。早下学長は、上智大学のグローバル化への具体的な取り組み、とりわけ文部科学省に採択された「スーパー・グローバル大学創生支援事業」の推進について説明、アジア各国ソフィア会の理解と協力を求めました。

フォーラムでは、香港、マレーシア、台湾、シンガポール、ベトナム、タイの各ソフィア会代表者から現状報告があり、アジア留学生奨学金やグローバルメンター制度などの導入に向け、大学・ソフィア会と留学生が一層の連携を図るためのネットワーク構築へ取り組む決意を新たにしました。

懇親晩餐会の最後には全員で肩を組み校歌を合唱、日本人、中国人が上智の校旗の下に一体となったことを実感。最後に、2016年の次回開催地として「タイ・バンコク」が上原会長から発表されました。

コムソフィア賞は師岡文男さんと 安田菜津紀さんに

2014年度マスコミ・ソフィア会総会は6月28日、東京四谷の主婦会館地下ホールに会員約50人が参加して開催。直前の6月17日に亡くなった濱口浩三前会長の遺影を壇上に飾り黙祷の後議事を行い、恒例のコムソフィア賞授賞式と記念講演が行われました。



第24回コムソフィア賞は、上智大学教授で保健体育研究室室長の師岡文男さん(76文史)に贈られました。師岡さんはフライングディスク競技を体育実技にとり入れ国際スポーツ界で活動し、2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致にも貢献。国際連盟「スポーツアコード」の理事に日本人で初めて選出されるなど、国際スポーツ界の活動が評価されたものです。

コムソフィア濱口賞が贈られたフォトジャーナリストの安田菜津紀さん(10総教)は、在学中からカンボジアを中心に難民キャンプなどを写真取材、その強烈な映像が評価され人々の心をとらえテレビなどメディアで活躍していることから、今後の活躍を期待して贈られました。詳しくは <http://cumsophia.jp/> コムソフィアオンライン参照

Flash

■秋季の学位授与式と入学式を開催ー上智大学

上智大学は、2014年度9月期学位授与式を9月19日(金)に、また秋学期入学式を9月22日(月)に、それぞれ四谷キャンパス10号館講堂で行いました。学位授与式では学部卒業生123名、博士前期課程修了者36名、博士後期課程修了者9名を送りだし、入学式では学部生95名、博士前期課程41名、博士後期課程7名を迎えました。

Sophia University Graduation Ceremony
September 2014
2014年度 上智大学 9月期学位授与式



19日の学位授与式では、早下学長から大学を離れても学ぶことを決して止めないように、また学校で学んだことは忘れてもその後に残るであろう大学の理念は忘れないようにとの式辞がありました。また、上原ソフィア会会長からは、ソフィア会を代表して卒業生の皆さまを歓迎するとともにソフィア会への積極的な参加を期待する旨の挨拶がありました。最後に、卒業生代表による流暢な英語での謝辞があり、校歌斉唱で閉会しました。

■金祝燦燦会が祖師谷キャンパスで秋の懇親会

金祝燦燦会は10月17日(金)、上智学院の「祖師谷国際交流会館」で秋の懇親会を開催、約60名の会員が参加しました。

館内施設を見学した後、薬膳研究家の青柳敬子氏(80外西)による講演、キルト作品の展示販売、DVD「カロール」の紹介などが行われました。

金祝燦燦会は金祝を経たOBOGにより2012年に設立されたソフィア会登録団体で、母校への留学生が知日家・親日家として育ち、将来母国と日本の懸け橋になってくれることを願ってスピーチコンテストや奨学金授与などの活動を始めています。

■齋木外務事務次官講演会を開催ーソフィア会が共催

上智大学主催、ソフィア会共催で、10月15日(水)2号館17階国際会議場で齋木昭隆外務事務次官の講演会が行われました。

テーマは「日本外交の課題」で、卒業生、学生など約180名が参加。講演会では、齋木次官は現在の安倍政権の元での米国、中国、韓国、北朝鮮、ロシア、またイスラム諸国との関係に言及、日本の外交戦略を説明しました。



■ソフィアタワーの建設始まる

着工が遅れていた、上智大学の新たなシンボルとなる「ソフィアタワー」(地上17階・高さ77m)の建設工事がスタートしました。上智学院は起工式を11月4日に執り行い、2017年4月の供用開始を目指して2016年12月末の竣工を予定しています。



ソフィアタワーには、全学の言語教育を担う「言語教育研究センター」と学部横断的なグローバル教育を展開する「グローバル教育センター」の両センターを設置し、本学のグローバル教育推進機能を集約します。また、総合グローバル学部(2014年4月開設)や入学定員増に見合う教室の整備や、800人規模のホールを兼ねる大教室を設けます。また、ソフィアンズクラブもソフィアタワーに移転する予定で、クラブとソフィア会事務局、会議室の3室で構成されます。

■菅原裕二グレゴリアン大学教会法学部長が特別講演会

菅原裕二教皇庁立グレゴリアン大学教会法学部長(80法法)による特別講演会が7月16日、2号館17階の国際会議場で開催されました(上智新聞インテル会主催)。講演会のテーマは「就任1年余、教皇フランシスコでバチカンはどう変わる」。



菅原神父は教皇フランシスコのもっとも近くにいる日本人といわれるだけあって、当日は240名を超す参加者で国際会議場は埋め尽くされました。また、講演会の後は著書のサイン会も行われ、長い列ができていました。

■フットボール・ジャーナリスト、沢田啓明氏(82外仏)が講演

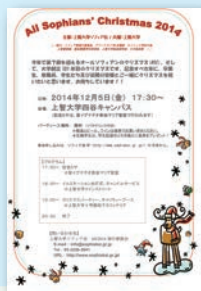
ソフィア会と上智大学が共催し、9月16日(火)17時半から2号館17階国際会議場でフットボール・ジャーナリストである沢田啓明氏による特別講演会を開催しました。

講演会のテーマは「失意のサッカー王国ブラジルは出直せるかーブラジルW杯と世界のフットボール」。今年6～7月に行われたW杯において、サッカー王国といわれ開催国でもあったブラジルは3位決定戦でもオランダに敗れるという苦い経験をしました。そのすべてを見ていた沢田氏が世界のフットボールの現状を語りました。

沢田氏は1982年に外国語学部フランス語学科を卒業し、現在はブラジルを拠点にフットボール・ジャーナリストとして活躍しています。



今年のオールソフィアのクリスマスは12月5日です 大学創立101年目のクリスマスを祝いましょう



今年で7年目を迎えるオールソフィアのクリスマス(ASC)。昨年の100周年記念ASCはパーティ会場の9号館地下カフェテリアが満員になるほどの盛況でしたが、今年も実行委員会は同規模のイベントを予定しています。

パーティの入場料は昨年と同じ無料。軽食、ビール、ワインなどは食券でお求めいただく形になりますが、在籍学生には学生証提示で食券をプレゼントします。趣向を凝らしたプログラムを用意していますので、ぜひご家族連れでお越しください。



当日のスケジュール

- 17:30～ 記念ミサ(聖イグナチオ教会マリア聖堂)
- 18:30～ イルミネーション点灯式&キャンドルサービス
(メインストリート)
- 19:00～ クリスマスパーティ&チャリティブース
(9号館地下カフェテリア)

上智大学名誉教授 渡部昇一先生講演会のお知らせ

『知的生活の方法』40周年 —大学と世界—

上智大学英文学科同窓会は、1953文英卒の渡部昇一先生の講演会を開催します。来年はベストセラー「知的生活の方法」出版から40周年を迎えることから、新たに「大学と世界」という観点からご講演いただきます。上智大学学生、卒業生、教職員ひろく募集致しますので、ぜひ皆様ご出席ください。



- 講演会/2015年1月17日(土) 15:00～16:30 上智大学7号館14階特別会議室
- 懇親会/17:00～18:00 上智大学2号館5階食堂(参加費2000円)懇親会会場ではサイン会、新刊書の発売会を予定しています
- 申込方法/上智大学ソフィア会Webサイトから参加申込をお願いします(申込締切 2014年12月10日)
- 問い合わせ先/上智大学文学部英文学科同窓会eibun-alumni@sophia.gr.jp

第3回ドイツ語スピーチコンテストと懇親会のお知らせ

ドイツェルリンク主催のスピーチコンテストを下記の通り開催します。コンテスト参加者の募集は締め切りでしたが、皆様足をお運びになり「生のドイツ語」によるスピーチを聞き下さい。当日は資料の配布もごございます。コンテスト終了後には懇親会もありますのでこちらもご参加下さい。

- 日時/2014年12月7日(日)
- 13:00～15:30 第一部スピーチコンテスト
- 15:40～17:00 第二部 懇親会
- 会場/上智大学11号館第3、4会議室



前年度開催の様子

ソフィア会は「100周年記念募金」につづき、「SOPHIA未来募金」に参加します!

上智大学創立100周年記念募金はこの3月末で終了しましたが(卒業生の実績については5ページ参照)、上智大学は4月から「SOPHIA未来募金」を立ち上げ、上智学院3校(上智大学、上智大学短期大学部、上智社会福祉専門学校)は募金活動を継続しています。もちろんソフィア会もこれに参加します。

上智学院は2013年7月、今後の10年ほどを見据えた将来構想「グラン

ド・レイアウト20」を公表しています。これは上智大学の教育精神である「for Others, with Others」の元で、国境・言語・文化などさまざまな境界線を越えて活躍する「世界をつなぐ人」を輩出することを目的としたもので、SOPHIA未来募金はその基盤となるものです。今後、毎年度2億円の募金目標額を掲げています。ソフィア会は、常設専門委員会の募金委員会を核に募金活動を推進していきます。

募 集

ソフィア会の代議員推薦のお願い

ソフィア会の代議員は現在484名が登録され、最高議決機関である全国代議員会(春秋年2回)で、基本方針を決定しています。現在、一般推薦代議員に若干の増員枠がありますので、皆さまの周囲に適任と思われる方がおられましたら、ご推薦をお願いします。代議員選出方法には、一般推薦枠に加え登録団体の枠があり、登録団体からの代議員届出も継続して受付けています。

一般推薦代議員候補者

一般推薦の要件としては、最低1名の代議員を含む、5名以上のソフィアンの推薦が必要となります。役員選考委員会は推薦書をもとに、選考し、直近の全国代議員会で承認を求めます。推薦書面フォームはソフィア会Webサイトから入手可能ですが、詳細は事務局にお問い合わせください。

登録団体からの代議員の届出

現在ソフィア会には272の団体(学部・学科、地域、各種)が登録されています。登録を希望する団体はまずソフィア会の承認を受ける必要があります。登録団体として承認されれば、自動的に1名の代議員枠が与えられます。代議員の登録は、当該登録団体が団体代表代議員を選出して届け出し、ソフィア会がこれを受理した時点で完了します。

全国代議員会には、当該団体代表代議員が登録された旨を報告します。

被顕彰者選考委員会の代議員委員候補者を募っています!

ソフィアンズ・ナウ174号(2013年秋号)でお知らせしたように、ソフィア会に顕著な貢献あった会員を顕彰する顕彰制度で昨年15名の方々が顕彰されました。

被顕彰者選考委員会は代議員互選の10名と常任委員会指名の5名、計15名の委員で構成され、顕彰される会員を選考検討する役割を担い、その結果を常任委員会が審議し顕彰者を決定します。

2014年秋季全国代議員会で報告の通り、来年5月開催予定の春季全国代議員会で代議員から10名の委員を互選しますので委員候補者を募っています。

自薦・他薦を含めて「①氏名、②卒年、③卒業学部・学科、④他薦の場合には推薦人氏名・卒年・卒業学部・学科」を記載し、被顕彰者選考委員会委員候補となる」旨の届け出をソフィア会事務局山崎主事(wataru_yamazaki@cl.sophia.ac.jp)あてに送ってください。

様式は自由、届け出期限は2015年3月末です。

あなたもソフィアNEXT100プロジェクト

上智大学ソフィア会が大学創立100周年を機に次の100年に向けてスタートさせた新たな活動。それが「NEXT100プロジェクト」です。

ソフィアン同士が共通の考え方や趣味、文化、ビジネス、ボランティアなどを通じてつながる、助け合う、一緒に楽しむ。そして、毎日の暮らしの中に豊かに息づく《新しいつながり》を創っていこうという狙いがあります。

今までの各ソフィア会は、同じ学部やサークル、地域といった“共通資格”での集まりがほとんどでした。こうした同窓会の基盤に加え、今後は幅広い世代のソフィアン同士がもっと自由な発想で、何でも良いから自分と共感してくれるソフィアン同士の新しい“つながり”や“居場所”をつくっていききたい、とソフィア会は考えています。

現在、ソフィア・ウーマンネットワーク、企業/起業ネットワーク、防災ネットワーク、ソフィ



月1回、学内で会議を開いています

維持会費(運営協力費)ご納入のお願い

ソフィア会の維持会費(運営協力費)は、在学中に徴収される同窓会積立金と並び、ソフィア会活動を支える貴重な財源となっています。本号の特集記事(p2~3)をご覧ください。お分かりのように、ソフィア会に課せられたテーマは数多くあります。それらを実現するためにも、維持会費納入に会員みなさまのご協力をお願い申し上げます。

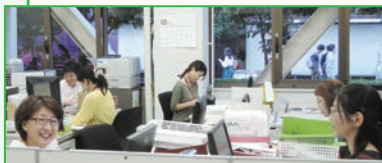
【納入方法】納入方法には①郵便局専用の振込用紙による振込、②自動引き落とし(年払い制)、ソフィア会銀行口座への振込、の3つの方法があります。詳細はソフィア会事務局(Tel 03-3238-3041)にお問合せください。

事務局便り ソフィア会事務局

前任の津久井博次に代わり、今年7月1日に事務局主事に就任した山崎渉です。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局は大学創立100周年を終え、ほっと一息といきたいところですが、ソフィア会は既に「NEXT100プロジェクト」を立ち上げ、新たな未来に向けて歩みを始めました。事務局もたゆむことなくソフィア会の発展に引き続き寄与していく所存です。今までただでさえ手狭であったところに資料類も山積みになって窮屈でしたが、少しずつ荷物を整理して皆さんの来訪を快くお迎えできるようにします。ご慮なくドアを開け、お声かけ下さい。

(山崎渉/77文史)



上智大学ソフィア会2015年春・秋全国代議員会開催日程(予定)

春季 5月16日(土) 秋季 10月17日(土)

2015年のソフィア会・大学のスケジュール

3月26日(木)	学部・大学院学位授与式
4月 1日(水)	学部入学式
4月 2日(木)	大学院入学式
5月31日(日)	金・ルビー・銀・銅祝式典、上智大学ソフィア会会員大会 2015オールソフィアンの集い
9月18日(金)	9月期学位授与式
9月21日(月)	秋学期入学式
10月 3日(土)	第7回地域ソフィア会全国大会(広島大会)(~10/4)
11月 1日(日)	創立記念日
11月 2日(月)	先哲祭
12月 3日(木)	聖ザビエルの祝日
12月 日付未定	オールソフィアンのクリスマス
2016年3月25日(金)	学部・大学院学位授与式

今後のスケジュール

に参加しよう!

ソフィア会
だより



ソフィア会Webサイトのここをクリックしてください。ソフィア会の新しい世界が広がります。

ア文化芸術ネットワーク、上智大学「校歌」プロジェクト、2020東京deボランティアなど、10を超えるワーキンググループが活動しています。

こうしたワーキンググループに参加希望の方、また新たにワーキンググループを立ち上げようとする方を募集しています。テーマの内容は問いません。みなさんも、共通の考え方、生き方、共感、関心などに基づく“つながりネットワーク”を作っていきませんか。

みなさまの元に直接ニュースをお届けします

メールニュース、Facebookへの登録のご案内

ソフィア会は毎月2回、メールニュースという形で会員みなさまに直接ソフィア会の最新情報をお届けしています。もちろん、ソフィア会Webサイトには毎日最新情報をアップしていますが(昨年実績570本)、メールニュースに登録されると、それらの情報を見落とすことなく入手できます。また、ソフィア会は国内でも1,400万人のユーザがいるといわれるソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)のFacebookにも専用サイトを持ち、画像・動画データも含めて最新情報をアップしています。

ぜひ、ソフィア会Webサイトから登録をお願いします。

メールニュースの申込み

受信登録ボタンを押して申し込みフォームにご記入の上、送信してください。



Facebookページの登録

いいね!を押せば登録完了。鷲のマークをクリックするとFacebookへ移動できます。

第7回地域ソフィア会全国大会は「広島市」に

9月27日の第6回地域ソフィア会全国大会(2014新潟大会)の場において、第7回地域ソフィア会全国大会は広島市で開催されることが発表されました。ホストは広島西部ソフィア会で、2015年10月3日「ホテルグランディア広島」で行われます。

訃報

2014年 6月 4日逝去	平田 耿二	名誉教授(元文学部教授)
2014年 6月 23日逝去	河合 恒男	特任教授
2014年 8月 9日逝去	父路門フランソワ	名誉教授(元文学部教授)
2014年 9月 21日逝去	鈴木 宣明	名誉教授(元文学部教授)
2014年10月 5日逝去	藤田 博司	元特別契約教授(文学部)
2014年10月 13日逝去	小林 稔	元特別契約教授(神学部)

ソフィア会広報委員会

宍戸周夫(71法法)、鈴木真理子(82文仏)、風間烈(65外仏)、宮崎輝雄(72法法)、平野由紀子(82文英)、山本修司(86文新)、宮地信幸(91文新)、金谷春美(03外葡)